

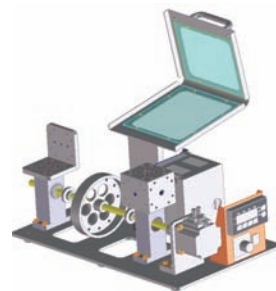
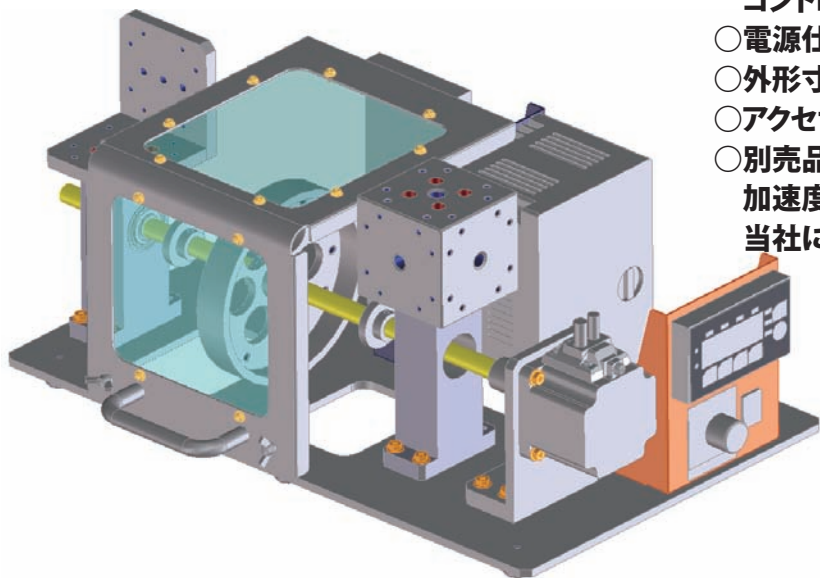
回転振動模擬装置

回転振動模擬装置:H02は回転機器の回転振動現象を再現する小型のローターモデルです

新製品

■簡単操作

- 回転速度設定:回転ダイヤルを回して回転数を変化可能。
表示器:回転数4桁表示
- 定格回転数:3600rpm(速度制御範囲80~4000rpm)
- 加速、減速時間:0.2~15s(3000rpm/min時)
- 使用モータ:リインタルモータ、BLF230A
コントローラ:リインタルモータ、BLFD30A2
- 電源仕様:単相AC100V、30W
- 外形寸法:450(W)×280(D)×200(H)、質量:8.1kg
- アクセサリ(添付品):保護カバー、センサブロック
- 別売品:センサ、センサケーブル、アンプ、収納ケース
加速度型、動電型、非接触型センサーやアンプのご用命は
当社にお問い合わせ下さい。

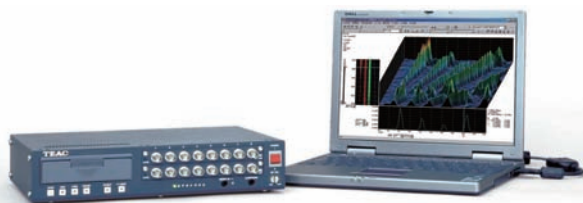


*イメージ図です、実際の色とは異なります

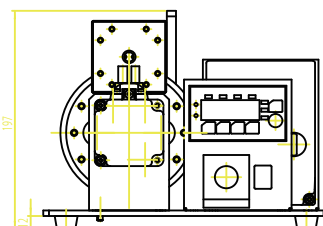
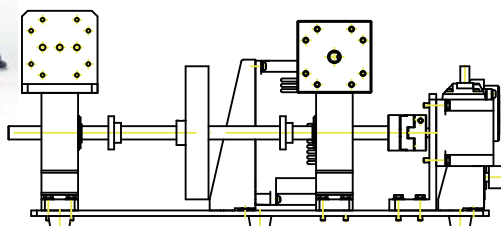
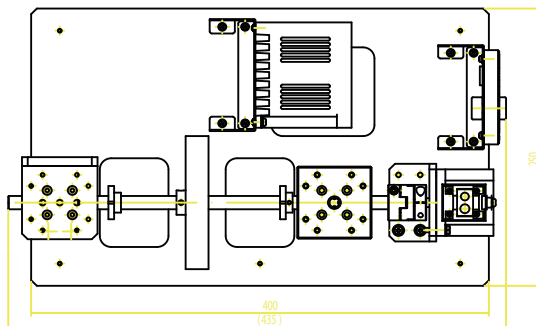
回転振動現象の計測準備や解析手法の研究、教育用に役立ちます

- 回転振動測定を行なうための計測機器の準備や要員教育用に測定環境を作るのは大変です。
「回転振動模擬装置:H02は軸受に振動センサを取り付け、回転軸に非接触式の回転センサを準備して計測機器に接続すれば、簡単に現場の環境を模擬することができます。
- 回転振動解析用のデータ収集・解析には、当社の「RotaryView」回転振動解析ポータブルシステムをご使用下さい。リアルタイムにポーラール線図等による回転振動/位相解析ができます。
- データ計測用のセンサ、アンプは別売です。併せて当社にご用命下さい。

RotaryView.



別売:回転振動解析用ポータブルシステム



回転振動模擬装置外形図

回転振動解析用のシステムをご検討される場合には、別売の「RotaryView」大型回転機器用「回転振動解析ポータブルシステム」をご使用いただければ、バランス調整や現地試験の際の報告書作成に非常に効果的です。

別売品：「RotaryView」大型回転機器用「回転振動解析ポータブルシステム」の特徴

データ計測表示機能…回転振動データをリアルタイムに計測し、振動/位相解析ができます。

振動データ入力	8/16チャンネル、標準12.8kHz
電圧入力レンジ	±0.5、1、2、5、10、20、50V
回転パルス入力	1チャンネル、1回転/パルス数の指定可能
パルス入力レンジ	±0.5、1、2、5、10、20V
パルス判定	立ち上がり、立下り閾値判定
測定回転数範囲	180～18000rpm
データ収集モード	Δrpm (回転数の変化により計測) Δt (時間、最短5秒間隔で判定)

*測定条件はロガーのレンジ設定と一緒に登録可能

リアルタイムグラフ表示機能

タイムトレンドグラフ	TYグラフ、次数成分の振幅/位相 OA値の時間変化を表示
SVグラフ	ボード線図、振動/位相表示
ポーラグラフ	ベクトル線図、振動/位相を表示
オービットグラフ	リサーチグラフ、1回転当りのシャフトの軌跡を表示
タイムベースグラフ	1回転当りのシャフトの軌跡を時系列表示
FFTグラフ	FFT演算結果を表示
シャフトセンタライングラフ	軸受クリアランス内の軸中心位置の回転数による変化を表示
デジタルトレンド表示	0.5X、1X、2Xの振幅/位相、OA値、回転数を一覧表示

*各グラフを組み合わせて7種類(シングル、マルチ、クロス)の表示形式を指定することができます。

トラッキング演算、FFT解析機能

解析手法	データ収録時にソフトウェアによるリサンプル処理を行い、定比トラッキング手法で解析
解析次数	0.5X、1X、2X (回転次数) 1f、2f (50/60Hz電源周波数次数)
回転方向、位相補正	CW (右回り)、CCW (左回り) 回転センサの取付角度を指定可能
フレーム長	512～32768
窓関数	レクタングラ、ハニング、フラットトップ
表示単位	O-p/p-p
スケール	リニア/ログ

後処理グラフ表示・解析機能

後処理グラフ表示	タイムトレンド、SV、ポーラ、オービット、タイムベース、シャフトセンタライン、FFT、FFTカラーコンタ、FFT3D、デジタルトレンド
測定データ保存	Δrpm、Δtのタイミングで8回転分の波形データとFFT・トラッキング演算データを保存
データ変換	データ保存タイミングで収集した波形FFT・トラッキングデータをCSV形式に保存

- 「LX-120」の仕様については、別途資料を参照ください。
- 使用するセンサ、センサアンプ、ソフトウェア詳細仕様については当社にお問い合わせください。
- 本文中の商品名は各社の登録商標です。本仕様はお断りなく変更することがあります。
- 当ソフトウェアの納入立会、個別改造については、当社にお問い合わせください。当社ではこの他、計測制御系の各種ソフトウェアの受託開発を行います。

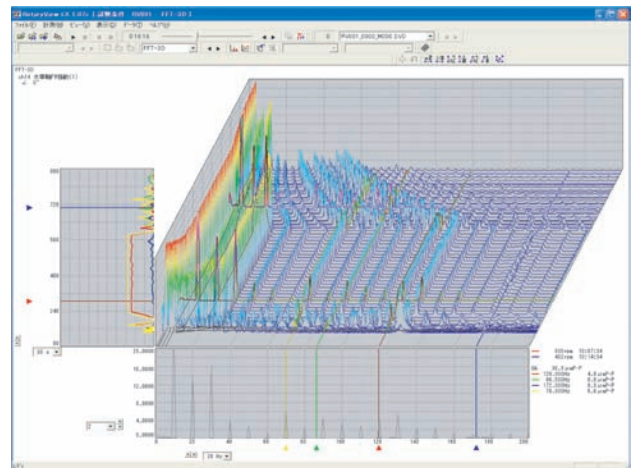
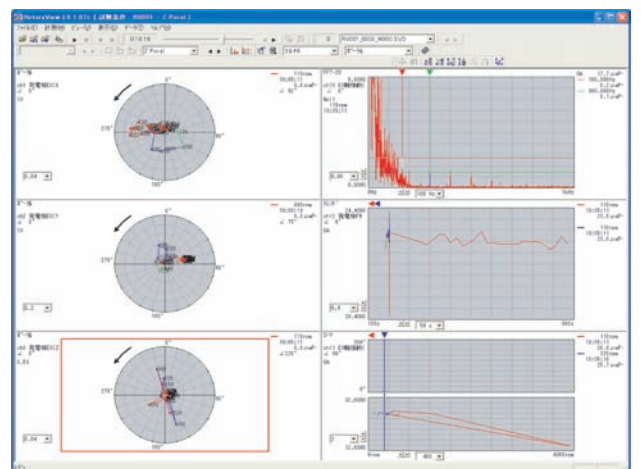
開発元・ソフトウェアお問い合わせ先



株式会社ハビリス システム営業部
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
TEL:03 (3769) 6291 FAX:03 (3769) 6285
ホームページアドレス <http://www.habilis.co.jp>
「Rotary View」お問い合わせメールアドレス Sales@habilis.co.jp

仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。記載の社名及び商品名はそれぞれの各社の登録商標です。このカタログの記載内容は2011年7月のものです。

データロガー、アンプ構成例



■使用機器構成例

パソコン仕様	OS:Windows 7/XP CPU:PentiumIV以上 メモリー:1GB以上 ディスプレー:SXGA以上
測定装置仕様	LX-120計測フロントエンド(TEAC製) 最大16チャンネル対応 パソコンとの通信はイーサネット
専用アンプ	動電型速度センサ/非接触型変位センサ対応(個別対応品)

回転振動模擬装置、回転振動解析ポータブルシステム価格：
お問い合わせ下さい。

お問い合わせは